

市町村名	石垣市
------	-----

令和元年度沖縄離島活性化推進事業費補助金検証シート

事業名	外国人観光客との共生推進事業	事業類型	<input type="checkbox"/>	産業振興
			<input checked="" type="checkbox"/>	定住促進
			<input type="checkbox"/>	その他

担当部課名	企画部 観光文化課	事業実施(予定)年度	平成30 ~ 令和2年度
-------	-----------	------------	--------------

事業内容  
外国人観光客のマナーに関する不安の解消を図るため、同様の課題を抱える各国との情報交換ネットワークの形成及び外国人観光客のマナー向上に向けた取組を行う。

先導性に係る取組	<input type="checkbox"/> 自立性	<input type="checkbox"/> 政策間連携	<input checked="" type="checkbox"/> 離島活性化を担う人材の確保・育成
	<input checked="" type="checkbox"/> 官民協働	<input type="checkbox"/> 事業推進主体の形成	<input type="checkbox"/> その他

効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度( R3年度)
--------	---

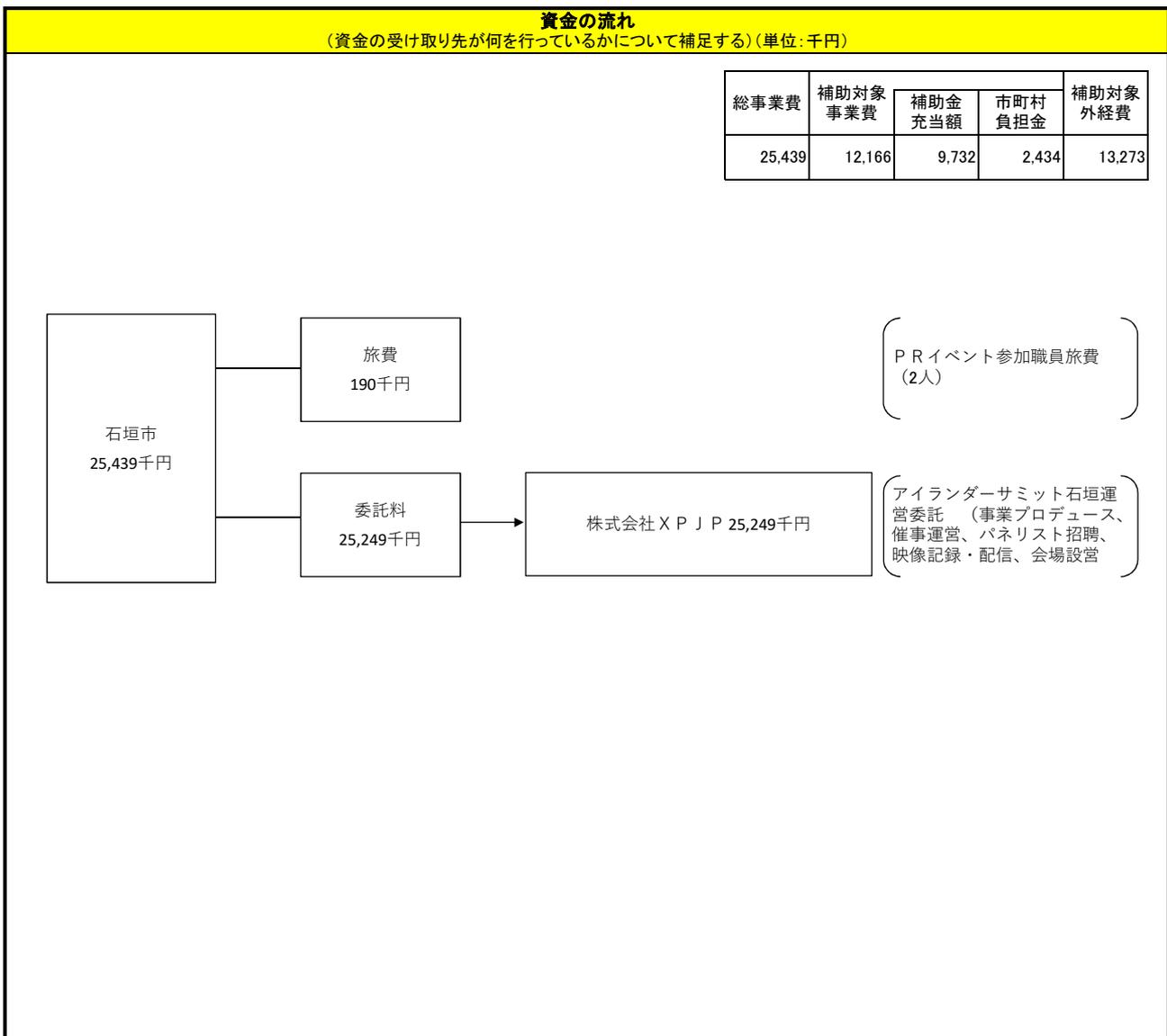
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )
------	--

		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「補助金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	7,774	25,612		
		(b) 予算現額	7,774	25,441		
		(c) 増減額(b-a)	0	▲ 171		
		(d) 繰越額				
		A. 計(b+d)	7,774	25,441		
	B. 執行済額		7,447	25,439		
	うち補助金充当額		5,957	9,732		
	次年度繰越額		0	0		
	執行率(%) (B/A)		95.8%	100.0%		
	予算の状況の説明		当初計画どおり本市同様の課題を抱える国や地域との国際会議を開催し、事業は適正に執行できた。不用額171千円は公募型プロポーザル方式による事業者選定における執行残である。			

活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)	達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
		国際会議の開催	目標	( - )	( 1 )	( )
		実績	-	1		
	国際会議参加国数	目標	( - )	( 4 )	( )	( )
		実績	-	4		
達成状況説明	外国人観光客のマナー向上に資する課題や対策等の経験と知恵の共有を図るため、ハワイのカウアイ島、インドネシアのバリ島、イタリアのサルディーニャ島と本市及び国内の有識者が集い、国際会議(R元年10月3日～6日)を開催した。基調講演のほか、環境、コミュニティ、人材育成、幸福学、SDGs等をテーマに12の分科会により国境や国籍を越えた意見交換を行った。また、関連イベントとして、ビーチクリーンや地元高校生と大学生によるフォーラム等を実施した。					

成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値(1年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R3年度)
			外国人観光客のマナー向上により、不安感が解消したと回答した市民の割合	目標	( )	( )	( )
		実績	20%			-	
	成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
	目標	( )	( )	( )	( )		
	実績				-		
進捗状況説明	外国人観光客のマナー向上により、不安感を感じないと回答した市民の割合について、R1年度は20.6%であった。R3年度の目標値達成に向け、本事業にて本市の抱える課題を各国と情報共有し、外国人観光客のマナー向上や市民の住環境とのバランスを図ることにより、住民の不安解消及び満足度を高める施策を展開していく。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>○会議では、海外の学生から、プラスチックごみを減らす取り組みやポイ捨てへの指摘があった。</p> <p>○外国人観光客のマナー向上については、市民から昨今の新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、マスクの不着用に厳しい目が向けられている。</p>	<p>○課題解決のため、海外の観光地(会議出席国)と形成したネットワークを活かし、先進的な事例の情報共有や当市における展開などを検討する必要がある。</p> <p>○外国人観光客のマナー向上については、マスク着用等新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策について、徹底した啓発を行う必要がある。</p>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<p>○バリ島の学生と本市高校生の交流を引続き推進し、バリ島学生が実践しているペットボトル等使い捨てプラスチック製品に対する運動(ペットボトルを極力使用しない、捨てさせない、再利用する)等を推進する。</p> <p>○外国人観光客のマナー向上については、SNSや空港等でのチラシ配布により、外国人観光客に対するマスク着用等新型コロナウイルス感染拡大防止啓発を行う。</p>		



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は、公募型プロポーザルで選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	予算の積算は前年度事業との継続性から1社見積りにより行った。また、不用額は事業費の1%以内であり、適正な規模であったと考えられる。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	—
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費目・使途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。